

感染対策研修

高齢者施設感染対策



2024年7月12日、17日

那須北病院
医療安全・感染対策管理室
池澤恵美子

介護施設等における感染対策の学習シリーズ

目 次

2

1

感染管理の教育と組織運営

4

学習目標

- 感染対策の重要性を職員に周知・定着できる。
- 感染対策を適切に行うための体制を整えることができる。
- 感染対策を行うために必要な職員へ組織的に配慮できる。

目 次

1. 感染管理の教育と組織運営
2. 管理者の情報収集と情報発信
3. 健康を守る環境整備
4. 職員への行動規範の周知、徹底

「介護現場における感染対策の手引き」は、厚生労働省医療局「介護現場における感染対策の手引き（第3版）」令和5年9月を参考のこと

はじめに

3

生活の質を保証するための感染管理

介護サービスを受けている人たちの日々の生活を支えるために、

- ①生活に必要不可欠な介護サービスの提供
 - ②標準予防策などによる感染の予防と拡大防止
- の2つを両立させることが必要

安定的に継続したサービス提供を行うため
日頃から感染対策への意識や取組が必要



例えば介護老人福祉施設などでは、基準法令に規定されている
感染対策委員会の設置等が求められる

「介護現場における感染対策の手引き」 1-4 介護施設・事業所における感染管理の体制づくり (P.35-36)

1

感染管理の教育と組織運営

5

1.2 組織作りと教育

- ①感染予防の体制を作り予防対策の実施を組織的に行うこと
- ②健康管理と行動規範を職員が守ることができるような教育機会を含めた職場環境を作ること
 - 施設や事業所内に病原体を持ち込まないための職員の健康管理と行動規範の周知

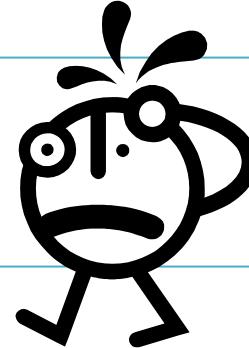


高齢者の感染対策が難しいところ

- 密着ケア(ADLの低下、難聴)
- 典型的症状が出ない→せん妄
- 隔離などが難しい(環境の変化に対応が難)
認知症などで出歩く
- 集団生活(食堂・入浴)
- 低床での生活
- 車いす自走
- 環境整備のタイミング



問題



- 病院とは違うのに、同じ対策をしなければならないの？…
- 高齢になると、病気がち、は仕方がない
- 個人防護具が少ない。支給されたのは…
- だれに聞いたらいいかわからない…

誤嚥性肺炎で入院していた
咳がまだ出ている…微熱も
夜間は看護師が不在… 吸引
嘱託医の指示が…

本日の内容

- 標準予防策(スタンダードプリコーション)
手指衛生
個人防護具着脱
- 環境整備



病院・施設内感染とはなにか

- 院内感染、医療関連感染 と同じ意味
新たに病原体に感染すること

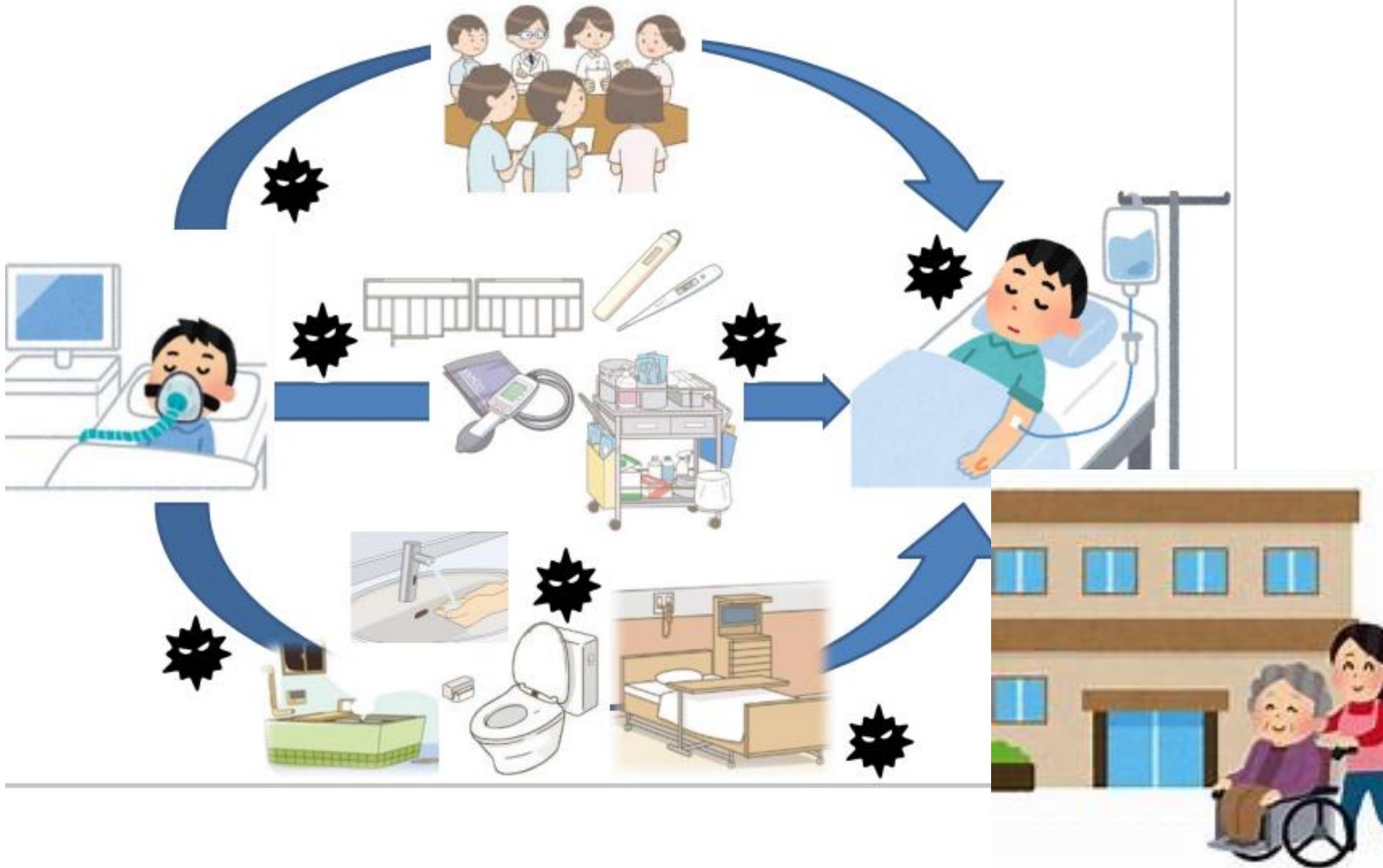


- 市中感染(生活の中で感染する)
- 日和見感染

(弱った患者が感染しやすくなる)

病院のみで療養する人は少ない。施設・病院 生活の場所をいくつか変える。

医療関連感染はどのように伝播するのか



スタンダードプリコーション

- ・ 感染がある無にかかわらず、すべての患者に適応される
- ・ すべての患者の湿性生体物質（汗を除く血液、体液、粘膜、分泌物、排泄物、傷のある皮膚）は感染性があるものとして取り扱う事



離予防のためのガイドライン2007:医療現場における感染性微生物の伝播予防

スタンダードプリコーションの実際

- 手指衛生
- 防護具の使用
- 使用済み機材の取り扱い
- 周辺環境対策
- 患者配置
- 血液病原体暴露予防
- 安全な注射手技
- 防護環境
- 咳エチケット



手指衛生の必要性

- 自分自身を病原体から守るため
- 手指を介して院内で病原体の伝播・拡散を防ぐ

病原菌の伝播拡散を防止するために

手の清潔に十分注意することは、自分自身はもちろん

患者や家族を感染から守ります



2009年

「医療における手指衛生についてのガイドライン」

手指衛生の種類

擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒

- 目に見える汚れがない(汚物や油、体液などで手が汚染されていない)ときに用いる

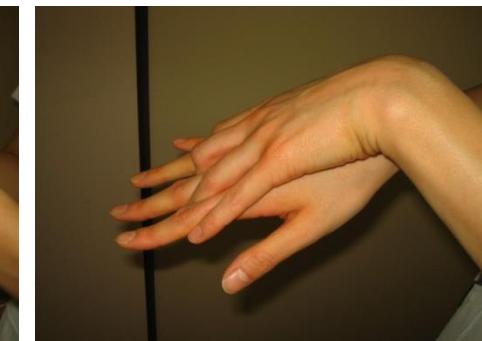
石けんと流水による手洗い

- 目に見える汚れがあるとき
- アルコールに抵抗性のある微生物が検出されている患者接触後

※液体石けんを使用し、容器への注ぎ足しはしない

アルコール擦式手指消毒剤使用方法

指尖1番



特浴介助後 アルコール消毒



(手荒れあり) アルコール消毒



手指衛生エラー

- ・アルコールはキッチンと塗って初めて効果が出る
- ・手洗い練習キットを使い見てみましょう
- ・塗り残しが多い部分はどこでしょう？



介護施設等における感染対策の学習シリーズ

D2 手洗い、個人防護具の適切な使用

1

手洗いの仕方

3

1.1 手洗いが基本

手洗いは感染対策の基本です。正しい方法を身に付け、きちんと手洗いします。



が基本！



2.3 体液、嘔吐物、排泄物等を扱うとき



2.4 利用者ごとに交換・廃棄

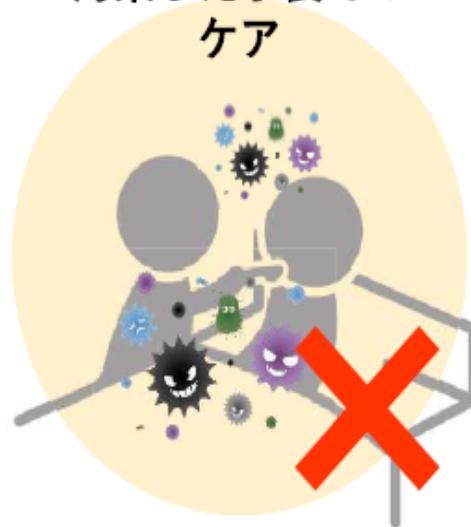
利用者ごとに
交換

速やかに
捨てる



2.6 次のようなことは、絶対にしてはいけません

汚染した手袋での
ケア



色々な場所を触る



手指消毒や
手洗いを省略する



感染管理ベストプラクティス

おむつ交換

準備



終了後



おむつ交換



ベストプラクティス：問題解決のための優れた実践例

！ 赤文字：EBMに基づき強く推奨されているところ

個人防護具（PPE）

- ・ 使用するまで清潔に管理する
- ・ 使用後は不潔とする
- ・ 床に落ちたら不潔として廃棄する
- ・ あいまいにならないようにする。



環境清掃・消毒

- 目で見て埃がないように
- スタッフ・利用者が良く触れる場所
(ドアノブ、椅子、手すり、ベット柵、トイレ)

アルコール製剤

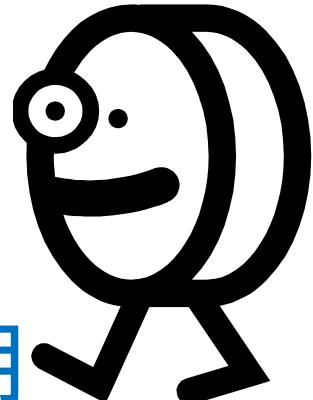
次亜塩素酸Na製剤

界面活性剤製剤 など

その他

環境 ベットメイキング

- ホコリが舞い上がらないように工夫
 フィルター掃除機 ロール式吸着紙
- 床に置かない、抱えない
- ランドリーバックに速やかに入れる
- おむつは床に置かない
- 廃棄容器の蓋は手を使わなくて捨てられるものにする。
- PPE(マスク、エプロン、手袋) 使用



消毒ワイプの管理

スプレーでは、使用しない
開封日を記入する
期間内で使い切る
乾燥・汚染を避ける



汚染した手、手袋で顔を触らない



患者の人格に配慮

病原体検出者・感染症発症者には病院内感染を防止するためのルールがある。

しかし、「カンセンだから」

と提供サービスに差別があってはならない。

例) 機械浴順番はどうする

MRSA、緑膿菌、下痢している、検査していない